

市民の声・市民のニュース

第4号

2018年02月11日
日本共産党根室市委員会
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

「安倍改憲問題」と民主主義って何?!

国会での論議が始まりました。安倍首相は「改憲論議は義務だ」と言ったそうです。総理大臣である「安倍さん」は国家公務員です。国家公務員でも地方公務員でも憲法を守るという義務があります。「義務」をはき違える国の責任者（総理大臣）って何なのでしょうか？ 少し皆さんと考えたいものです。

自分だけが正しい?

安倍首相の国会答弁や発言を聞いてみると「自分だけが正しい。」と聞こえるのは私だけではないようです。

署名活動や選挙のお願いで歩くと「安倍さんの顔は見たくないヨ。安倍さんが出るとテレビのチャンネルを変えるんだ。」という何人もの女性の人たちが話してくれます。「なぜなのか。」ときえさせられます。それは私も含めてですが、答弁や発言に「誠実さや謙虚さ」が見えず、「選挙で勝ったのだから自分だけが正しい。」と本気で思っ

ているのが言葉や態度にはつきり出ているからではないのかと思わざるを得ません。

しんぶん「赤旗」毎日版の月曜日文化欄に「月曜日インタビュ」という記事があります。1月29日に作家で大学教授の高橋源一郎さんが「民主主義って何だろう?」と考えさせる大変参考にするべき「意見」を書いていました。

同氏は、大学の国際学部のゼミ（小中高校などのクラスに当たり、高度な研究をする「教室」）の方針は「論破禁止」という看板でやっているそうです。

『自分が正しくて、相手が

間違っていると全面否定す

る姿勢が怖い。常に自分を疑った方がいい。人が攻撃するようになるのは視野がせまくなるから。いろんな人の声に耳を澄まし、世界を深く広く、複雑なものとして見るようにしたい。』と大学で「弱さの研究」を4年間もしたそうです。

『世界の不条理に敏感な弱い立場の人や少数派の人の社会のアンテナとして真ん中において《やばいよ、やばいよ》って教えてもらうことが大事。』とありました。

安倍政治と比べて「民主主義って何だろう?」考えさせられました。

妻の嘆き? と 夫の悲哀?

私（神）も現職を降りて約五ヶ月になるころです。最近よく耳にする互いに退職した後の夫婦間の関係。奥さん方の嘆き、夫の側の寂しさ、皆さんはどう思いますか？

よく聞く妻の嘆きー

サークル活動をやっている女性グループなどは月一（つきいち）とかで食事をやるようです。マア多くの方々が退職となったか、その年齢に近い人が多いグループが近ごろ多くなったとのこと。その席では「病気のこ

と、介護のこと、お墓をどうするかなど。」話に文字通り花が咲きそうで私自身でさえ、その場に居合わせたようにその時の様子が目に浮かびます。

ある奥さんのつぶやき。

「この頃は、特に健康に気を付けた食事に心がけているヨ。頑張って朝食は色々考えて準備して夫の喜び健康なものを出すようにしています。」と、ところが、朝食の後始末をしている私の耳元で「風飯は何になるんター」と夫がささやくのを聞いてガックリとなったそうです。するとあるお母さんが言ったそうです。アンタ、ガッカリする相手がいるだけで幸せ

このニュースに励まし

このニュースも第4号になりました。先日事務所に励ましのハガキをいただきました。ありがとうございます。ハガキの要旨をお伝えします。

しんぶん「赤旗」を購読して十年が経ちました。いつの間にか年齢を重ね後期高齢者の仲間入り。病気のことで、少ない年金あれこれ暗い気持ちになります。共産党様を味方として前向きに頑張りたいこうと思えます。

新聞、雑誌等つねに活字をおって私のボケ防止とされています。市民の声。またのニュースもとても楽しみめるページになりました。多忙の中での作成、頭がさがります。増々のご活躍をお祈り致します。一気力で頑張るばあちゃんよりー



わが家のやんちゃ愛猫（メス2才）です